

いろいろあります！税金の納付方法  
～29年1月より、国税のクレジットカード納付が始まりました～

17-008号  
通巻:176

平成29年1月より、国税のクレジットカード納付が開始されました。金融機関に行き、納付書で納付する方法が主流だと思えますが、さまざまな納付方法があります。クレジットカード納付の手続きとともに、その他の納付方法を確認していきたいと思えます。なお、クレジットカード納付ですが、住民税等の地方税については、地方自治体によって、対応しているところと対応していないところがあります。

#### ◆ クレジットカード納付について（国税）

インターネット上の専用サイトから、クレジットカードで税金を納付する方法です。

##### \* 手続きの流れ

##### ① 専用サイトへアクセス <https://kokuzei.noufu.jp/>

※源泉所得税の納付は、源泉の申告書提出後、e-taxのメッセージボックスからアクセスする必要があります。

その他の税目も、e-taxのメッセージボックスからアクセスした場合、納付内容の情報が引き継がれるので入力の一部省略ができます。

##### ② 納付情報の入力

利用者の情報                      名前・住所・電話番号・税務署

納付内容                              税目・課税期間・申告区分・税額

クレジットカード情報              カード番号・有効期限・支払方法・セキュリティコード・メールアドレス

##### ③ 手続き内容の確認をし完了、クレジットカードの決済

##### \* 利用可能税目

全ての税目で利用可能です。 加算税、延滞税等の納付も可能です。

##### \* 利用可能額

1度の手続きで、1,000万円未満。 但し、クレジットカードの決済可能額以下の金額に限ります。

1,000万円以上の場合でも、手続きを複数回行うことでクレジットカードでの納付が可能です。

##### \* 決済手数料

1万円までは76円(消費税別)。 その後は、1万円を超えるごとに76円(消費税別)。

例えば、30万円の納税で、 $76円 \times 30 \times 1.08 = 2,462円$  (税込) の手数料がかかります。

##### \* 注意点

領収証書は発行されません。納税証明書(有料)発行まで約3週間かかります。



## \* その他

24時間365日いつでも納税手続きができることは便利だと思います。その他、カードによってポイントがつく、カードの引き落とし日まで実際のお金の移動をずらすことができるなどが利点でしょうか。ただし、決済手数料がかかる、領収書が発行されないといった点は、ご注意ください。

### ◆ その他の国税の納付手続について

#### 1. 金融機関や税務署での窓口納付

金融機関や税務署が開いている時間に、窓口で納付する方法です。一番基本的な方法かと思えます。

#### 2. コンビニ納付

バーコード付納付書であれば、コンビニで納付することができます。納付金額が30万円以下の場合に限ります。予定納税は、バーコード付納付書が送られてきます。それ以外は、納税者からの発行依頼で発行されます。

#### 3. ダイレクト納付

e-taxを利用し、電子申告等のあと、簡単な操作で、即時又は指定した期日に、届出をした預金口座から振替納税することができる方法です。事前に、e-taxの利用開始届を提出し、納税用確認番号等の登録をします。また、利用の1か月前までに、ダイレクト納付届出書を税務署に書面で提出します。

#### 4. インターネットバンキングやATMなどで納付

インターネットバンキングやATMで「ペイジー」というボタンから納付する方法です。

登録方式(事前にe-taxで納付情報データを登録する方法)と入力方式(事前の登録は行わず、自分で納付目的コードを作成する方法)と二つの方法があります。

#### 5. 振替納税

所得税・消費税個人のみ可能です。納期限までに、税務署もしくは金融機関へ、振替依頼書を提出します。所得税は3月15日が納期限ですが、振替納税にすると4月中旬に口座引き落としとなります。一度手続きをすると自動的に振替納税が行われます。所轄税務署が変更となる場合は再度手続きが必要です。

※納付手続は、上記のように、様々な方法がありますが、個人の振替納税以外は、納付の都度、納税者が選択し、手続きを行う必要があります。申告書の提出後に、税務署から納付書の送付や納税の通知などはありません。※地方税については各自治体により異なります。 ※参照 国税庁HP



毎月の源泉所得税の納付など、金融機関に行く時間がとりにくい方にとっては、クレジットカード納付やダイレクト納付は、時間と手間が省け、お薦めかなと思います。ただし、領収書が発行されなかったり、パソコンのクリックで済むことは便利ですが、よくよく気をつけておかなければ、納付を忘れてしまう可能性も大きいのではと感じます。各手続きについて、気になる点がございましたら、お気軽にお問合せ下さい。

クラージュ総合会計事務所 保田 美恵